

## もしガザが陥落すれば……

二〇〇八年二月二六日

## 目的

ガザ地区に対する包囲攻撃が開始されたのは、十一月五日、つまりイスラエルがガザ地区内に入ってから三日後のことだった。そのときの攻撃では、間違いなく、その前の六日からイスラエルとハマースとのあいだで成立していた停戦を、ここで完全に壊してやろうということが目論まれていた。それ以前にも停戦違反は双方に見られたが、今度の侵攻は桁違いであった。ハマースはロケット弾をイスラエル側に撃ち込むことで応酬し、それ以来暴力は収まっていない。

イスラエルによる包囲攻撃には、基本的な目的が二つある。一つめは、ガザ地区のパレスチナ人たちが抱えているのはたんに人道問題だと、つまり彼らはただの物乞いで、政治的アイデンティティをもたず、それゆえ政治的主張もありえない、とみなされるように仕向けること。

二つめは、ガザ地区をエジプトへ無理に押しつけること。だからこそイスラエルは、ガザ地区とエジプトをつなぐ数百本ものトンネル——その周囲では、非公認ながら次第に管理の行き届くようになった商業圏が姿を現しつつある——を大目に見ているのだ。ガザ地区の住民の圧倒的多数が貧困状態にあり、統計では失業率が四九・一パーセントに達している。安定雇用の見通しが、大半の住民から急速に奪われているのが現実だ。

十一月五日にイスラエル政府は、ガザ地区に出入りする道路すべてを封鎖した。食糧、医薬品、燃料、水道設備や公衆衛生設備の部品、肥料、ビニールシート、電話、紙類、接着剤、靴、さらにティーカップまでもが、搬入を完全に禁止されるか、あるいは著しく制限されている。オックスファム [Oxfam] / イギリス発祥で途上国支援をする国際NGO」によると、十一月の一月間にわずかトラック一三七台分の食糧しかガザ地区に入ることが認められなかった。つまり、一日平均で四・六台のトラックがガザに入ったことになるが、他の時期と比較すると、前月の一〇月には一日平均で一・二三台、「ハマースが政権を執る直前の」二〇〇五年一月には一日平均五六四台が入っていた。

## 食糧

ガザ地区に食糧を配給している主要な二つの機関は、国連パレスチナ難民救済事業機関 (U

UNRWA)と国連世界食糧計画(WFP)である。UNRWAだけで、ガザ地区の約七五万人に食糧の配給をしており、それを日々継続するためには毎日トラック一五台分の食糧が必要である。しかし、一月五日から三〇日までのあいだにガザ地区に入ることができたのは、わずか二三台のみで、これは必要な全体量の約六パーセントにすぎない。一月三〇日の週にガザ地区に入ることのできたトラックは一二台で、必要とされる量の一一パーセントだった。さらに一月には三日間ほどUNRWAに食糧の在庫がなくなってしまった日があったが、そのために配給を予定されていた六万人(二日二万人に配給)が食糧を手にできないという事態が生じた。UNRWAのガザ地区の責任者であるジョン・ギングによると、食糧支援を受けている人のほとんどが、必要な食糧のすべてをその支援に頼っている。封鎖の継続のために、とうとう一月一八日には、UNRWAは緊急支援と通常支援の両方の食糧配給をすべて休止せざるをえなくなった。

WFPのほうも似たような問題をかかえており、二月はじめまでのガザ地区での必要量をカバーするはずだった一九〇台のトラックのうち、わずか三五台分しか食糧をガザに送り出せなかった(一月三〇日から二月六日までのあいだに六台の追加が認められたが)。これだけではない。WFPはガザに送れなかった食糧の倉庫代を払わなければならない。この費用は一月一カ月間だけで二二万五千ドルにもなる。封鎖がさらに続けば、WFPは二月分の倉庫代とし

て、さらに余分に一五万ドルを支払わざるをえなくなる。このお金は、パレスチナ人を支援するためではなく、イスラエルの企業を儲けさせるために使われるのである。

ガザ地区のパン製造所の大半(四七カ所中三〇カ所)が、パン焼き用のガスを切らしてしまっているために、閉鎖に追い込まれてしまった。住民は、炊事のためには目につく燃料はどんなものでも使っている状態だ。国連食糧農業機関(FAO)が明らかにしたように、ボンベ式のガスは、ブローラーの雛を孵化させるための暖をとるのに不可欠である。ガスと飼料の不足のために、養鶏業者は数十万羽もの雛鶏を処分せざるをえなくなった。FAOによれば、ガザ地区の人びとの七〇パーセントが、鶏肉を主要タンパク質源としているにもかかわらず、四月までには市場から鶏肉が完全に消えるという。

### 銀行

また銀行は、イスラエルが占領地への送金を制限しているために、一月四日をもって閉鎖に追い込まれた。ある銀行のドアには次のような貼り紙がある。「現金が手に入らないために、パレスチナ自治政府財務省の決定で、当行は二〇〇八年一月四日木曜日をもって閉鎖いたします。現金が入手でき次第、再開いたします。」

世界銀行は、送金制限が継続されればガザ地区の銀行制度は崩壊しかねない、と警告した。

もろもろの事業計画のための融資がすべて停止しており、UNRWAも最貧困層への助成金制度を一月一九日でもって休止した。UNRWAはまた、紙・インク・接着剤がないために、教科書の制作も中止した。このことは、新年に学校に戻ってくる二〇万人の生徒らに影響を及ぼすことになる。イスラエルの国防大臣エフド・バラクは、パレスチナ自治政府のサラーム・フアイヤード首相からの要請を受けて、二月一日に二五〇〇万ドルを送金したが、この種の送金としては一月以来初めてのものではなかった。とはいえこの金額では、ガザ地区の公務員七万七千人のわずか一カ月分の給料をまかなうことさえもできない。

#### 燃料

ガザ地区で唯一の発電所でも、一月一三日には工業用のディーゼル燃料を使い果たしてしまい、発電を停止し、タービンが止められた。このためにタービンのバッテリー二個が切れてしまい、その一〇日ほど後に燃料が手に入ったときには動かない状態になってしまっていた。また、注文していたタービン用のスベア部品一〇〇個ほどが、八カ月ものあいだイスラエルの関税局の許可待ちで、アシュドッド港「テルアビブとガザ地区のあいだに位置するイスラエルの港【地図1】」に据え置かれている。税関で四五日以上が経過したことで、それらの部品はすでに競売にかけられているが、その売却代金はイスラエルの会計に入れられることになっ

ている。

一月三〇日の週になって、発電所向けのディーゼル燃料三九万四千リットルの搬入が認められたが、しかしこれは、イスラエルに課された一週間当たりの法的な搬入最低量の約一八パーセントでしかない。これだけでは一つのタービンを二日間稼働させたらおしまいで、発電所は再度停止することとなった。このガザの電力供給会社によると、ガザ地区のほぼ全域が毎日四時間から一二時間程度は停電となり、その間ほどの時間帯をとってみても、最低六万五千人以上が電気のない状況におかれることになるという。

その週、他のディーゼル燃料（自家発電機用や交通機関用）はまったく入っておらず、ガソリン（これは一月はじめから）も調理用ガスも一切入らなかった。ガザ地区の病院は、エジプトからトンネル経由で密輸されたディーゼル燃料とガスに頼っているとみられる「本章第三章六節参照」。トンネルの密輸品は、ハマースが統制し、税もかけているとされる。しかしそれでも、一月二三日から二つの病院でガスがなくなっているという。

#### 政治対立

包囲攻撃によって生じた諸問題をさらに深刻にしているのは、西岸地区のパレスチナ自治政府とガザ地区のハマース政権とが政治的に分裂したことで引き起こされた問題だ。たとえば、

もろもろの事業計画のための融資がすべて停止しており、UNRWAも最貧困層への助成金制度を一月一九日をもって休止した。UNRWAはまた、紙・インク・接着剤がないために、教科書の制作も中止した。このことは、新年に学校に戻ってくる二〇万人の生徒らに影響を及ぼすことになる。イスラエルの国防大臣エフド・バラクは、パレスチナ自治政府のサラーム・ファイヤード首相からの要請を受けて、二月一日に二五〇〇万ドルを送金したが、この種の送金としては一〇月以来初めてのものではなかった。とはいえこの金額では、ガザ地区の公務員七万七千人のわずか一カ月分の給料をまかなうことさえもできない。

#### 燃料

ガザ地区で唯一の発電所でも、一月一三日には工業用のディーゼル燃料を使い果たしてしまい、発電を停止し、タービンが止められた。このためにタービンのバッテリー二個が切れてしまい、その一〇日後に燃料が手に入ったときにはすでに動かない状態になってしまっていた。また、注文していたタービン用のスペア部品一〇〇個ほどが、八カ月ものあいだイスラエルの関税局の許可待ちで、アシェドッド港「テルアビブとガザ地区のあいだに位置するイスラエルの港【地図1】」に据え置かれている。税関で四五日以上が経過したことで、それらの部品はすでに競売にかけられているが、その売却代金はイスラエルの会計に入れられることになっ

ている。

一月三〇日の週になって、発電所向けのディーゼル燃料三九万四千リットルの搬入が認められたが、しかしこれは、イスラエルに課された一週間当たりの法的な搬入最低量の約一八パーセントでしかない。これだけでは一つのタービンを二日間稼働させたらおしまい、発電所は再度停止することとなった。このガザの電力供給会社によると、ガザ地区のほぼ全域が毎日四時間から一二時間程度は停電となり、その間はどの時間帯をとってみても、最低六万五千人以上が電気のない状況におかれることになるという。

その週、他のディーゼル燃料（自家発電機用や交通機関用）はまったく入っておらず、ガソリン（これは一月はじめから）も調理用ガスも一切入らなかった。ガザ地区の病院は、エジプトからトンネル経由で密輸されたディーゼル燃料とガスに頼っているとみられる「本章第三章六節参照」。トンネルの密輸品は、ハマースが統制し、税もかけているとされる。しかしそれでも、一月二三日から二つの病院でガスがなくなっているという。

#### 政治対立

包囲攻撃によって生じた諸問題をさらに深刻にしているのは、西岸地区のパレスチナ自治政府とガザ地区のハマース政権とが政治的に分裂したことで引き起こされた問題だ。たとえば、

ガザ沿岸地区水道局はハマース管轄下にはなく、西岸地区ラーマッラーのパレスチナ水道局を経由して世界銀行から融資を受け、それでガザ地区の下水設備のポンプを動かす燃料代を支払うことになっている。ところが六月以降、パレスチナ水道局は資金を渡すことを拒否している。たぶん、下水設備を機能させることがハマースに利すると考えたためだろう。世界銀行が介入を試みたのかどうかは不明だが、こうしているあいだにも、UNRWAが代わりに燃料を供与しているのだ——UNRWAにはその予算などないにもかかわらず。またガザ沿岸地区水道局は、塩素を二〇〇トン輸入する許可をイスラエルに求めたが、しかし一月末までに受け取れたのはわずか一八トン、一週間分の水道水を塩素処理できる量にすぎなかった。一二月半ばまでには、ガザ市とガザ地区北部で水道が通じるのは、三日ごとに六時間だけという状況になっていた。

世界保健機関によると、ガザ地区と西岸地区の政治的分断は、ガザ地区の医薬品の備蓄にも深刻な影響を与えている。西岸地区の保健省は、ガザ地区で使用されるほとんどの医薬品や医療消耗品を確保し搬送する責任を負っている。だがガザ地区における備蓄は、すでに危険水準まで減っている。一二月をとおして西岸地区の保健省は、倉庫の空きがないとして出荷を拒否していた。しかし実際には、充分な量の医薬品をガザ地区に送っていなかったのだ。一二月三〇日の週に、医薬品・医療品を積んだトラック一台が、ラーマッラーの保健省を出てガザ地区へ入ったが、それは九月上旬以来初めてとなる搬送であった。

#### ガザのあと

私たちの目の前で、一つの社会全体が崩壊しようとしている。しかし国際社会は国連からの警告も無視して、ほとんど反応を示さなかった。EUが最近、イスラエルとの関係強化を望んでいると公表したのは、イスラエルの指導者らが公然と大規模なガザ侵攻を叫び、ガザ占領地に対する経済的締め付けを継続するなかでのことであった。しかもその対ガザ政策については、これまでも数多くの施策についてイスラエルと協力してきたラーマッラーのパレスチナ自治政府から、さほど暗黙的でもない支持があったようだ。イスラエル側はハマースとの停戦を延長したいと言ったものの、ガザ地区の封鎖を緩めようとしなかったために、一二月一九日にハマースは、イスラエルとの停戦を公式に終了させた。

ガザ地区の人びとから食糧や医薬品を取り上げておくことで、どのようにしてイスラエルの人びとを守れるというのだろうか。ガザ地区の人口の五〇パーセント以上を占める子どもたちを、貧困に陥れ苦痛に苛むことが、いったい誰のためになるのだろうか。国際法の観点からも人間の尊厳の観点からも、彼らを保護することが求められている。もしガザ地区が陥落すれば、その次は西岸地区の番だ。



# ホロコースト

# から

# ガザへ

サラ・ロイ Sara Roy

パレスチナの政治経済学

岡真理＋小田切拓＋早尾貴紀 編訳



戸塚 ☎862-9411

横浜市立図書館



2043764252

青土社